

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年8月24日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、私から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目下段、8月28日火曜日の（2）第616回の審査会合でございます。こちらは記載がございますように、特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開にて開催をさせていただきます。

審査の対象ですが、2件予定されておまして、関西電力・高浜原子力発電所1号炉及び2号炉の特重施設の工事計画認可に係る審査、また、同じ関西電力・美浜発電所3号炉の特重施設の設置変更許可に係る審査、これらの審査が行われる予定でございます。

続きまして、2ページ目上段、（3）第15回のもんじゅ廃止措置安全監視チーム会合が同日8月28日火曜日の午後に開催される予定となっております。こちらの議題は、記載のとおり2件予定されております。

まず、議題1といたしまして「廃止措置の実施状況について」ということで、燃料取り出しの取り組みを含みます廃止措置の実施の状況について、その進捗状況の御説明をお聞きするという予定でございます。

また、議題の2つ目は「保安規定変更について」とございます。こちらは保安規定の変更について、申請が出ております。内容は性能を維持する機器についての詳細化ということでございますが、こちらについて、確認のために説明を聞くこととしております。

続きまして、中段、8月29日水曜日でございます。

まず、（5）原子力規制委員会記者会見とございます。定例の委員長による記者会見でございますが、時間が通常と異なりまして、15時半、午後3時半から開催をさせていただきます。こちらは日程の1ページ目でございますが、午後に委員会の臨時会議が開かれることに伴うものでございます。

次に、その下、（6）第4回原子力発電所における配管支持間隔の設定方法に関する会合、こちらが同日29日の夕刻に開催される予定でございます。こちらはいわゆる定ピッチスパン法による評価の妥当性につきまして、何回かにわたりまして事業者と意見交換を行ってきているものでございます。その第4回目ということ、第3回目の会合で行い

ましたコメント回答の積み残しの部分につきまして、説明をお聞きするという予定としております。

次に、その下、8月30日木曜日、(7)第617回の審査会合でございます。こちらも特定重大事故等対処施設の審査のため、非公開とさせていただきます。審査の対象は、九州電力・川内原子力発電所1号炉及び2号炉の特重施設の工事計画認可に係る審査を予定してございます。

次に、3ページ目、8月31日金曜日でございます。(11)第1回廃炉等に伴う放射性廃棄物の規制に関する事業者との意見交換を午後3時から開催する予定としております。

議題は、記載のとおり、第二種廃棄物埋設に係る事業許可基準規則等の骨子案に対する事業者との意見交換ということでございます。こちらは、ここに記載のございます第二種廃棄物埋設に係る事業許可基準規則等の骨子案、いわゆる中深度処分等に関する規則等の骨子案でございますが、これにつきまして、先般8月1日の原子力規制委員会におきまして報告をし、審議をいただいたところです。その場でこの骨子案について、事業者と意見交換を行うということとなったことを受けて実施をするというものでございます。

当方、田中委員以下の原子力規制委員会、規制庁メンバーと事業者との間で意見交換が行われる予定でございます。

最後に、その下、3.委員の現地視察の予定が1件新しく入っております。8月30日木曜日に、田中委員及び規制庁の職員が原子力研究開発機構大洗研究所の試験研究炉HTTRとJMTRの視察を行うという予定となっております。

こちらは、HTTRにつきましては、新規制基準適合性に係る審査の観点から、設備の安全対策や管理体制などについて調査を行うと。また、あわせて、JMTRについては、廃止措置の準備状況について、現場で確認を行うということを予定しているものでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますでしょうか。

○記者 日経新聞のコシカワです。

中深度処分の事業者との意見交換についてなのですが、ここで言う事業者というのは、どんな人たちを呼ぶことになっているのでしょうか。

○大熊総務課長 少々お待ちください。確認をいたします。

予定でございますけれども、今、呼び出す、参加いただく予定となっておりますのが、電気事業連合会、それから、日本原燃株式会社、それから、日本原電株式会社、そ

れから、JAEA、さらにNUMO（原子力発電環境整備機構）、こういったところにお越しいただくということで現時点での予定をさせていただきます。それぞれに中深度の処分、あるいはそれに関連するL2、L3の処分などにかかわっている事業者の方々ということでございます。

○記者 分かりました。

○司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—